

平成23年12月27日

民主党厚生労働部門会議・障がい者WT難病対策小委員会

平成24年度小児慢性特定疾患治療研究事業関係

予算(案)の概要

小児慢性特定疾患対策の推進 12,996百万円(12,837百万円)

1. 小児慢性特定疾患治療研究事業 12,950百万円(12,791百万円)

小児慢性疾患のうち、小児がんなど特定の疾患にかかり、長期間の療養を必要とする児童等の健全育成を図るため、その治療の確立と普及を図り、併せて患者家庭の医療費の負担軽減にも資するよう、医療費の自己負担分の一部を補助するものである。

※予算額等の推移

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算額(千円)	11,502,456	10,803,621	10,876,280	10,933,128	11,409,568	12,791,445
交付申請額(①)	11,268,478	11,369,455	11,978,342	12,506,941	12,525,676	-
交付決定額(②)	11,268,478	10,803,621	10,876,280	10,933,128	11,409,568	-
交付率(②/①)	100.0%	95.0%	90.8%	87.4%	91.1%	-
給付人数	108,343人	105,409人	106,368人	107,894人	108,790人	-

2. 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業 46百万円(46百万円)

日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾患児に対し日常生活用具を給付することで、日常生活の便宜を図る。

3. 小児慢性特定疾患児ピアカウンセリング事業 母子保健医療対策等総合支援事業 10,510百万円(9,871百万円)の内数

小児慢性特定疾患児を養育していた者等による相談を行い、日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図る。

小児慢性特定疾患児に対する福祉サービスの実施状況

■小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業

日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾患児に対し日常生活用具を給付することで、日常生活の便宜を図る。

【給付対象用具】

便器、特殊マット、特殊便器、特殊寝台、歩行支援用具、入浴補助用具、特殊尿器、体位変換器、車いす、頭部保護帽、電気式たん吸引器、クールベスト、紫外線カットクリーム、ネブライザー(吸入器)、パルスオキシメーター

※ ネブライザー(吸入器)及びパルスオキシメーターは平成23年から給付用具に追加。

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
予算額(千円)	63,633	63,633	54,285
実績額(千円)	6,582	5,937	7,161
給付用具数	334	282	332

■小児慢性特定疾患児ピアカウンセリング事業

※ 母子保健衛生費等国庫負担(補助)金のメニューの一つ、療育指導事業に含まれる。

小児慢性特定疾患児を養育していた者等による相談を行い、日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図る。

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
予算額(千円)	15,955	15,955	15,955
実績額(千円)	12,552	11,942	10,222
相談延べ人数	2,058	2,318	2,279

※ 予算額及び実績報告額は、療育指導事業のもの。